

日興USグローイング・ベンチャーファンド

景気回復とともに期待高まる米IPO市場 ～足元の注目点とラザード社からのメッセージ～

- 飛躍的な成長が期待される米国のIPO(新規株式公開)銘柄に投資を行なう当ファンドは、2014年10月の運用開始から堅調なパフォーマンスとなりました。今夏以降は、世界景気の先行き不透明感などを背景に調整し、その後、方向感の乏しい展開もみられるものの、資産特性や今後の米国経済の見通しなどを踏まえると、米国のIPO関連銘柄は、引き続き、魅力ある投資対象と考えられます。
- 本資料では、足元の米IPO市場の注目点などについて、当ファンドのマザーファンドの投資顧問会社であるラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー(以下、ラザード社)からのコメントとあわせてご紹介いたします。

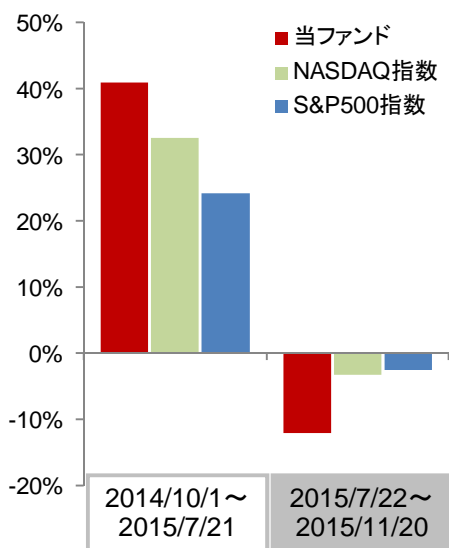
成長期待を背景に、大きく上昇した米IPO株式

＜当ファンドの基準価額および主要株価指数の推移＞

(2014年10月1日(設定日)～2015年11月20日)



＜今夏(7/21)前後の騰落率＞



今夏以降は、IPO関連銘柄がそれまでの株価の大幅上昇を受けて利食い売りが出やすい状況だったことに加え、来年の米大統領選を見据えた、薬価設定に対する政治的な圧力などが注視されてヘルスケアセクターが全般的に売られやすかったことなどが、当ファンドのパフォーマンスにも影響しました。

- * 当ファンドの基準価額の算出方法に準じ、前営業日の株価に当該営業日の為替レートを乗じて、日興アセットマネジメントが算出しています。なお、上記株価指数はいずれも当ファンドのベンチマークではありません。
 ※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。主要株価指数は配当込指数を使用しています。
 ※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

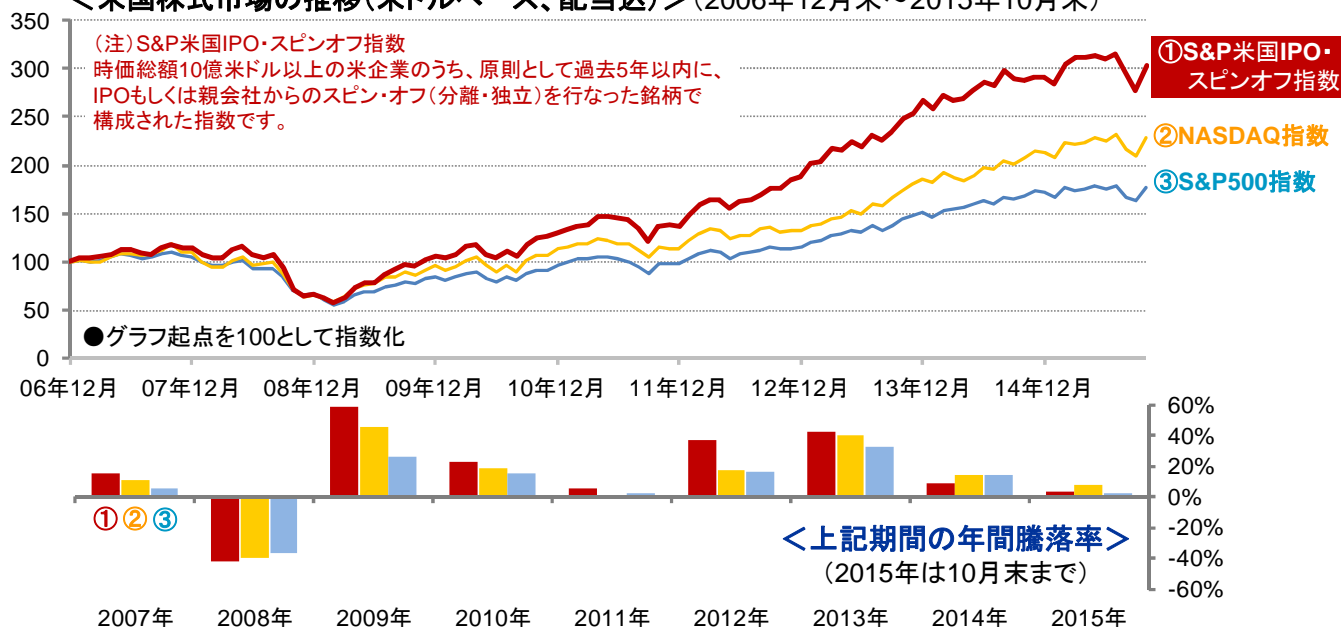
■当資料は、投資者の皆様へ「日興USグローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

米IPO企業に期待される 成長余地

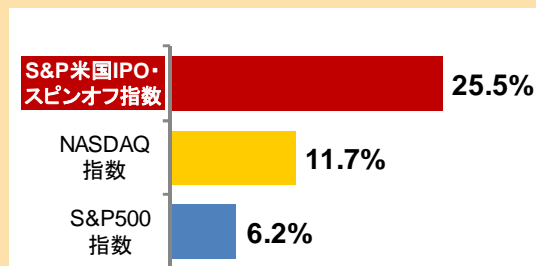
- IPO(新規株式公開)により、企業は、資金調達力の著しい拡大や信用力・知名度の向上などが可能となることから、飛躍的な成長の機会を得ると期待されます。そのため、IPO後数年間は、非常に魅力的な投資機会と考えられます。
- 特に米国は、高い流動性や成熟した制度面などから、投資資金を呼び込みやすく、米IPO市場は世界最大規模となっています。そのため、近年は、米国でIPOを果たす海外企業も見受けられます。

飛躍的な成長が期待される米IPO企業

＜米国株式市場の推移(米ドルベース、配当込)＞(2006年12月末～2015年10月末)



＜企業の売上高成長率(3年平均)＞
(2015年10月末現在)



各指数の構成銘柄における3年間の実績値の幾何平均

直近5年で売出規模の大きかった米IPO銘柄

銘柄名(業種)	上場年月	売出規模
1 アリババ・グループ・ホールディング(ソフトウェア・サービス)	2014/9	250.3
2 フェイスブック(ソフトウェア・サービス)	2012/5	160.1
3 HCAホールディングス(ヘルスケア機器・サービス)	2011/3	43.5
4 シチズンズ・フィナンシャル・グループ(銀行)	2014/9	34.6
5 キンダー・モルガン(エネルギー)	2011/2	32.9
6 シンクロニー・ファイナンシャル(各種金融)	2014/7	29.6
7 プレーンズGPホールディングス(エネルギー)	2013/10	29.1
8 ヒルトン・ワールドワイド・ホールディングス(消費者サービス)	2013/12	27.1
9 ゴエティス(医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス)	2013/2	25.7
10 ファースト・データ(ソフトウェア・サービス)	2015/10	25.6

● 期間: 2011年1月～2015年10月

(単位: 億米ドル)

※ 上記は、個別銘柄の売買を推奨するものでも、当社ファンドにおける保有の有無、並びに将来の組入れもしくは売却を示唆するものでもありません。また、当ファンドが組入れる銘柄などのパフォーマンスを示唆するものではありません。

右下はラザード社提供のデータ、その他は信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「日興USグローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

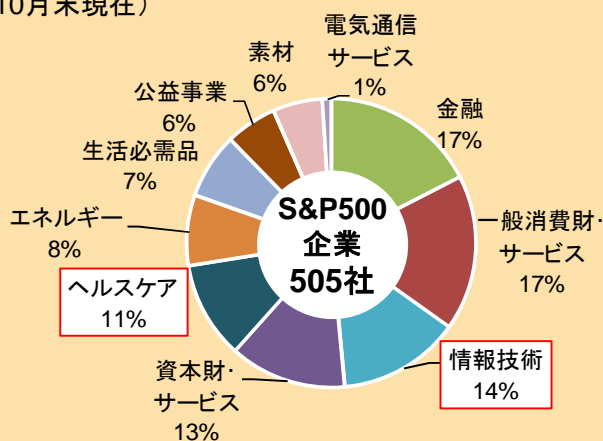
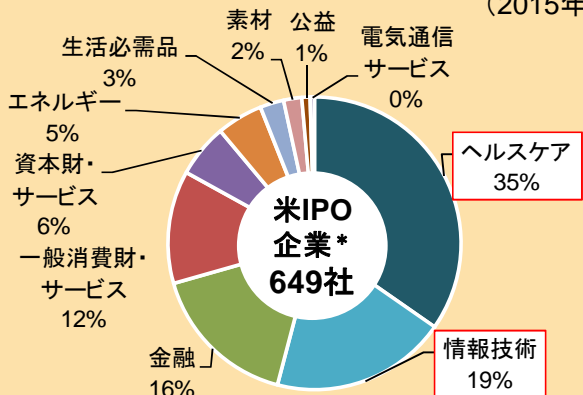
大きな可能性を秘めるイノベーション

- 米IPO企業の特徴として、ヘルスケアや情報技術などの企業が多い点が挙げられます。これらの分野では、新技術や新製品などの「新しい価値」の創造が必要不可欠であり、そのために多くの研究開発費を投じる必要があることから、IPOが重要な資金調達手段になっていると考えられます。
- こうした分野のイノベーションの発達、米国をイノベーション大国へと導いており、国内のみならず、世界の先進技術の発展をけん引しています。

IPO企業はイノベーション大国をけん引

米IPO市場の半数超を、ヘルスケアや情報技術セクターが占める

＜米IPO企業とS&P500企業のセクター別比率＞
(2015年10月末現在)

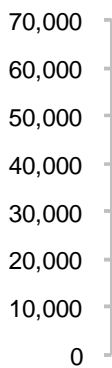


* 米IPO企業とは、2010年10月～2015年10月の間に米国株式市場にIPO(新規株式公開)した銘柄をさします。ただし、ETF(上場投信)やREIT(不動産投信)および特別目的会社などは除きます。

ラザード社提供のデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

＜世界の特許出願数(2014年)＞

(件数)



【国別上位10位】

【分野別上位】



出所: 世界知的所有権機関(WIPO)

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興USグローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

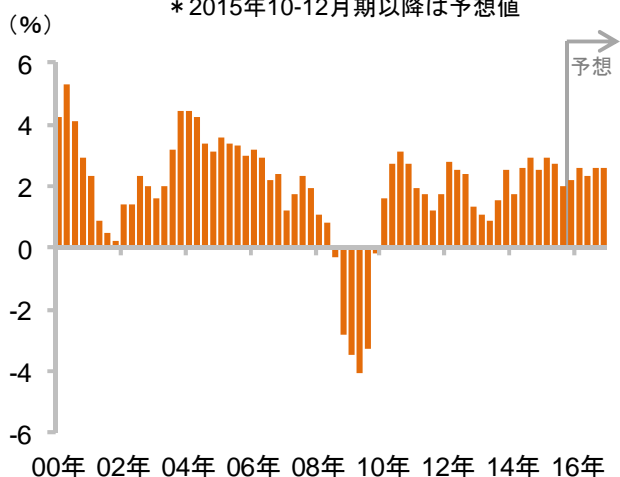
堅調な回復が見込まれる 米国景気

- 米国経済は、先進国の中でも良好なファンダメンタルズを背景に、着実な回復を続けています。足元では、構造改革が進む中国の動向や地政学的リスクの高まりなどを背景に、外部環境の先行き不透明感もみられますが、米国景気は、内需を中心に引き続き堅調が見込まれています。
- こうしたなか、IPO企業は、その多くが発展の初期段階にあることもあり、売り上げの多くを北米に依存しています。そのため、事業依存度が高い米国景気の回復・拡大の恩恵が期待されやすいと考えられます。

米国は、内需拡大を背景に安定した景気回復が見込まれる

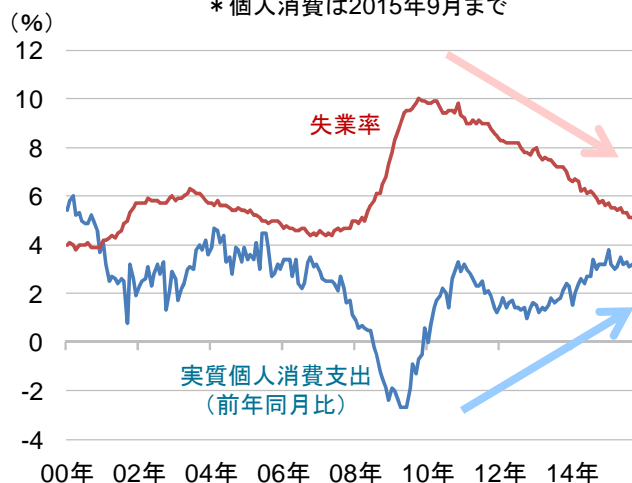
＜米国GDP成長率(前年同期比)の推移＞
(2000年1-3月期～2016年10-12月期予想*)

* 2015年10-12月期以降は予想値



＜米国の個人消費と失業率の推移＞
(2000年1月～2015年10月*)

* 個人消費は2015年9月まで

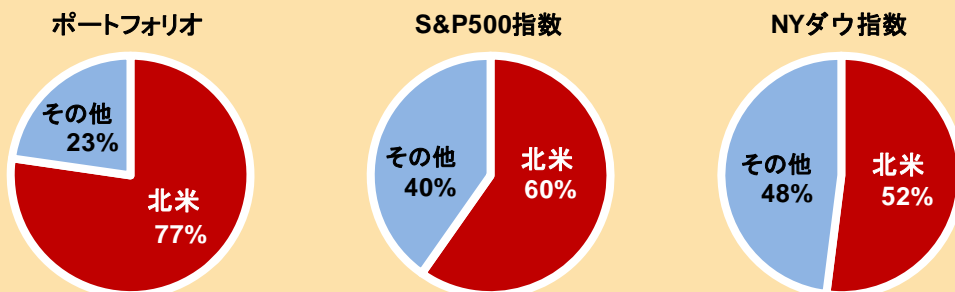


信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

出所: 米商務省、米労働省

米景気拡大から、より大きな恩恵が期待される米IPO企業

＜北米売上高の比率＞
(2014年)



2014年の全売上高に占める北米売上高を金額加重ベースで算出。売上高の地域セグメント情報を公表していない企業は除きます。ポートフォリオの資産配分および構成銘柄は、2015年9月末時点のものです。

ラザード社提供のデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興USグローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの運用について～ラザード社からのメッセージ～

米国経済は、内需を中心に堅調な見通し

- 足元で、世界景気の減速懸念やFRB（米連邦準備制度理事会）による約10年ぶりの利上げ観測などから、米株式市場が低迷する局面はあったものの、我々の米国経済に対する見通しは、引き続き良好です。
- 中国の景気減速に伴う影響は軽微にとどまり、インフレ基調と利上げペースの緩やかな状況が見込まれるなか、米ドル高によるマイナスの影響は限定的と考えられ、米景気は、堅調な推移を続ける内需を中心に、拡大が続くと見込まれます。
- 米国株式市場は、リーマン・ショック以降の大幅な回復により、足元の株価水準に対する懸念もありますが、過去の株価ピーク局面と比較すると、決して割高な水準ではないと考えています。また、企業の負債比率は低く、キャッシュフロー水準も高いことから、ファンダメンタルズは良好な状況であると考えています。



ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー
マネージング・ディレクター
パトリック・ライアン

IPOから5年は、特に成長が期待できる魅力的なタイミング

- 2015年の米IPO市場は、世界経済に対する減速懸念や米利上げ観測の台頭などを背景に、上場ペースが2014年と比べて緩やかとなっているものの、これまでのところ底堅く推移しています。2016年についても、堅調な米国経済を背景に安定的なIPOが見込まれており、配車アプリ運営会社や、個人間での空き部屋賃貸の仲介を行なう会社など、これまでにない独自の技術やサービス展開で注目を集める企業の上場が期待されています。今後も多くのIPO企業が、イノベーションを原動力に、外部環境の影響をあまり受けることなく独自の成長を続けるとみています。
- 我々は、高いイノベーションを有する魅力的な企業は、常に存在すると考えています。特に、IPO後間もない企業は、既存の産業概念にとらわれず、革新的なビジネスモデルや技術によって、いかなる経済環境でも爆発的な成長を実現する可能性を秘めています。未公開企業の多くが「次の成長段階を迎える前後5年程度のタイミング」でIPOを行なう傾向にあることから、米新興企業の中でもIPO後5年以内の企業は、特に魅力的であると考えます。

実績よりも将来性を見極める時期だからこそ、徹底した銘柄選択が不可欠

- ただし、成長初期段階の企業は、業績面での実績が少ないため、既存の株価指標によるバリュエーション判断は極めて難しく、個別企業の業績や財務状況など、徹底した調査に基づいた銘柄選択が重要です。当ファンドでは、我々の強みであるグローバル調査体制を通じた銘柄調査により、バリュエーションを精査し、将来的な成長率や期待リターンを分析し、飛躍的な成長が見込まれると考える企業への投資機会を発掘してまいります。

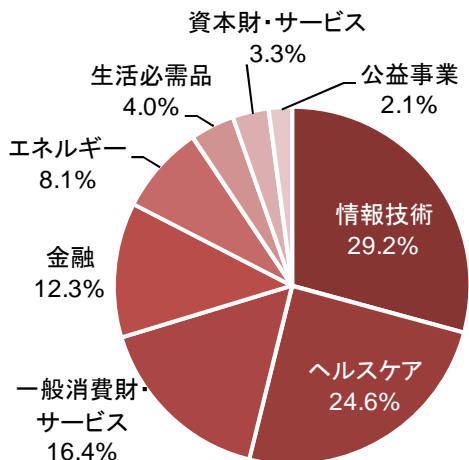
LAZARD
ASSET MANAGEMENT

※ 上記は、「日興USグローイング・ベンチャーファンド」の投資顧問会社であるラザード社からのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成したものです。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の方見方あるいは考え方などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、運用方針は変更される場合があります。

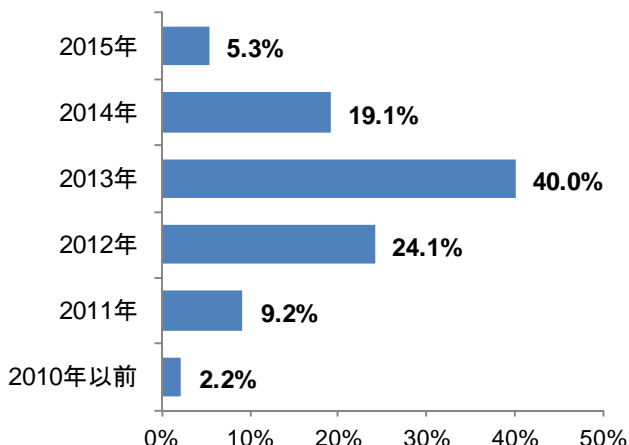
■当資料は、投資者の皆様へ「日興USグローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ポートフォリオ概要(2015年10月末現在)

＜業種別構成比率＞



＜IPO年次別構成比率＞



※マザーファンドの状況であり、比率は組入銘柄の評価額の合計を100%として計算したものです。

＜株式組入上位10銘柄＞

(銘柄数: 56銘柄)

順位	銘柄	業種	比率	銘柄解説
1	FACEBOOK INC-A	情報技術	4.9%	ソーシャルネットワーク・ウェブサイト大手運営会社。ポストスマートフォン時代を見据えて、積極的にM&Aを展開中。(2012年5月上場)
2	ZOETIS INC	ヘルスケア	4.4%	家畜とペットに特化した動物向け医薬品やワクチンを研究開発、製造、販売する医薬品メーカー。世界的に事業を展開。(2013年2月上場)
3	VANTIV INC - CL-A	情報技術	4.3%	クレジットカードや電子マネーなどの支払・決済サービス会社。また、情報リレーション、詐欺管理などのサポートサービスを提供。(2012年3月上場)
4	QUINTILES TRANSNATIONAL HOLD	ヘルスケア	4.2%	バイオ医薬品開発や商業アウトソーシング・サービスを手掛けるバイオ医薬品メーカー。心臓血管疾患、腫瘍、内科系薬品に強み。(2013年5月上場)
5	KRAFT HEINZ CO/THE	生活必需品	3.9%	食品・飲料業界で北米3位、世界5位の大手加工食品会社。2015年にクラフトフーズとハインツが合併。ケチャップやソースが有名。(2012年9月上場)
6	FRANK'S INTERNATIONAL NV	エネルギー	3.1%	世界の石油・天然ガス産業を対象にした鋼管サービスプロバイダー。高度な採掘技術を持ち、採掘生産大手企業にサービスを提供。(2013年8月上場)
7	NORWEGIAN CRUISE LINE HOLDIN	一般消費財・サービス	2.9%	旅客クルーズ船運航会社。フリースタイルのクルーズ旅行を企画提供。代理店販売や直販チャンネルにより全世界でサービスを展開。(2013年1月上場)
8	SPRINGLEAF HOLDINGS INC	金融	2.9%	消費者金融会社。全国の支店網とiLoan(ネットローン)でローン商品を提供。(2013年10月上場)
9	VOYA FINANCIAL INC	金融	2.7%	米国の個人・法人向けに退職年金、投資、保険サービスを手掛ける投資会社。米国全域において投資商品・サービスを提供。(2013年5月上場)
10	MARATHON PETROLEUM CORP	エネルギー	2.6%	石油製品の精製、輸送、販売を手掛ける石油会社。米国の中西部・湾岸地域・南東部で再販業者・消費者に製品を販売。(2011年6月上場)

※マザーファンドの状況であり、比率は純資産総額比です。

※個別銘柄の取引を推奨するものではありません。また、上記銘柄について、将来の組入れを保証するものではありません。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

【本資料で使用した「S&P米国IPO・スピンオフ指数」について】

S&P米国IPO・スピンオフ指数(「本件指数」)は、S&P Dow Jones Indices LLCおよび/またはその関連会社の製品であり、すべて著作権で保護されています。S&P Dow Jones Indices LLC、Dow Jones Trademark Holdings LLC、それぞれの関連会社およびその第三者許諾者のいずれも、それが表示しようと意図している資産区分または市場部門を指数が正確に表示することができることに、明示または黙示の表明または保証を行っておらず、本件指数またはそこに含まれるデータのエラー、脱落または中断についていかなる責任も負わないものとします。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

- 1** 企業の飛躍的成長の契機となるIPOに着目し、公開後5年以内の企業の株式を中心に投資を行ないます。
- 2** 世界の中でもIPOが盛んな米国の上場企業を投資対象とし、高成長が見込まれる企業に厳選投資します。
- 3** 銘柄選定は、株式のアクティブ運用に注力するラザード社が、徹底した調査に基づき行ないます。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用ができない場合があります。

お申込みに際しての留意事項①

■ リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

- ・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・中小型株式や新興企業の株式は、株式市場全体の平均に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

流動性リスク

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・一般に中小型株式や新興企業の株式は、株式市場全体の平均に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高いと考えられます。

(次ページに続きます)

お申込みに際しての留意事項②

■ リスク情報(続き)

(前ページより続きます)

信用リスク

投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト(債務不履行)や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

為替変動リスク

外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

有価証券の貸付などにおけるリスク

有価証券の貸付行為などにおいては、取引相手先リスク(取引の相手方の倒産などにより貸付契約が不履行になったり、契約が解除されたりするリスク)を伴ない、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。貸付契約が不履行や契約解除の事態を受けて、貸付契約に基づく担保金を用いて清算手続きを行なう場合においても、買戻しを行なう際に、市場の時価変動などにより調達コストが担保金を上回る可能性もあり、不足金額をファンドが負担することにより、その結果ファンドに損害が発生する恐れがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

お 申 込 め も

- 商品分類 : 追加型投信／海外／株式
- ご購入単位 : 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
- ご購入価額 : 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- ご購入不可日 : 購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 : 2024年9月10日まで(2014年10月1日設定)
- 決算日 : 毎年9月10日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 : 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。
※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ご換金価額 : 換金請求受付日の翌営業日の基準価額
- ご換金不可日 : 換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
- 課税関係 : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。
※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。
※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。
※配当控除の適用はありません。
※益金不算入制度は適用されません。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜お申込時、ご換金時にご負担いただく費用＞

■購入時手数料 : 購入時手数料率は、3.78%(税抜3.5%)を上限として販売会社が定める率とします。
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

■換金手数料 : ありません。

■信託財産留保額 : ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

■信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.8576%(税抜1.72%)を乗じて得た額

■その他費用 : 目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品賃料に0.54(税抜0.5)を乗じて得た額)などについては、その都度、信託財産から支払われます。

※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することはできません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
- 投資顧問会社 : ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー
- 受託会社 : 三井住友信託銀行株式会社
(再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
- 販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
[ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>
[コールセンター] 0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号	○			
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
丸八証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第20号	○			
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○		○	○

(資料作成日現在、50音順)

■当資料は、投資者の皆様にご「日興USグローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。